HOUSE PLUS

受付日：平成25年9月3日
受付番号：ＨＰ１３－ＫＴ０８９

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成25年10月11日

東京都港区芝５－３３－７
徳栄ビル本館４階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長　矢ヶ部英夫

1. 接合金物名称	フラットかすがいⅡ
2. 試験依頼者	株式会社　タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力（引張）を評価する。
4. 試験内容	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書（平成21年4月1日制定）」による。
5. 試験体仕様	1) 接合金物 「フラットかすがいⅡ」 材　　質：SWM-N (JIS G 3532)*1 寸　　法：120mm×40mm（外形寸法） 断面 5mm×5mm　先端部の角度 30° 表面処理：Ep-Fe/Zn 8/CM 2 C（JIS H 8610*2及びJIS H 8625*3） 2) 軸組材料 柱：105mm×105mm×550mm　スギ　無等級材 含水率：7.5～9.5%　　全乾密度：0.39～0.43g/cm^3 横架材：105mm×105mm×1000mm　スギ　無等級材 含水率：8.0～9.5%　　全乾密度：0.39～0.41g/cm^3 *1 JIS G 3532 鉄線の内、くぎ用鉄線　　*2 JIS H 8610 電気亜鉛めっき *3 JIS H 8625 電気亜鉛めっき及び電気カドミウムめっき上のクロメート皮膜
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 試験体は、柱芯から横架材両木口側400mmの位置でM12六角ボルト・ナット及び角座金W4.5×40を用い、鉄骨架台と緊結した(締付トルク管理値：20N・m)。
7. 試験結果	短期基準接合耐力　2.3 kN　（詳細については接合部性能試験報告書に示す）
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター：神奈川県横浜市鶴見区元宮1-12-24
9. 試験実施日	平成25年9月12日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎　道場 信義　千葉 博　加川 啓介　土屋 江利佳

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。